

# NPO 10年アリガトウ・プロジェクト

再会「気仙沼にて」…萩原康子<元 世田谷区立八幡中学校 教員>

世田谷区の中学校の教師だった私が、気仙沼で牡蠣養殖をしている畠山重篤さんに会ったのはちょうど十年前、2002年の5月14日の夜だった。場所は修学旅行の宿舎である国民休暇村気仙沼大島。期待に満ちた都会育ちの90名の生徒たちの前に、さっそうと畠山さんはやってきた。

中学校では入学して早々に、3年後を見据えて、その生徒たちの修学旅行先を決定する。そのときの学年主任が修学旅行をどこにするか思案していたとき、偶然テレビに環境問題を訴える畠山さんが映された。気仙沼には、海もあり森もある。様々な体験が出来る。「ここだ!」と思ったそうだ。

宿舎のある大島は気仙沼湾の中にある離島で、「緑の真珠」と讃えられた美しい島だった。そこへ渡るフェリーは夕方には終了してしまうが、彼は漁師とあって自分の船を操縦してきた。

そして彼の本を読んであらかじめ学習してきた生徒たちに、綺麗な海を守ることが島国の私たちにどれほど大切かを、熱心に話してくれたのだった。

今回、東日本大震災でその畠山さんが甚大な被害を受けたと聞いて、いてもたってもいられなくなった。そのときの生徒と保護者、教師たちが集めた義援金と励ましのメッセージを、直接ご自宅まで届けたいと、かつての教師仲間たち六名でやってきた。

事前の打診では、畠山さんは東京に出張中ということだった。この2月に、長年の活動で「国連森林ヒーロー」に選ばれたばかりで多忙である。

ところが、早く戻った彼に思いがけなく会えた。3月25日のことだ。

黒々とした髪だった畠山さんは、68歳になった今は白髪で口髭をたくわえていた。長年の財産が、あの津波で一瞬にして消えてしまったという。

一番残念なのは、最大の理解者だったお母さんを、津波で亡くしたことだった。

30年ほど前、畠山さんは気仙沼湾の牡蠣が赤潮によって絶滅するのではないかという危機に、川の上流にある森の伐採が原因だという仮説を立てた。誰も応援する人がいない孤立無援の中で、黙々と木を植え、育つのを待ち、粘り強く実証したのである。

そのために必要なお金を、お母さんが「おまえが信じることにするために使いなさい」と差し出した。「その母を冷たい水につからせてしまったのは、断腸の思いです」。

それでも彼は、自分のところも苦しいけれど出来るところから復興して行かなければと自らを奮い立たせていた。

仮設住宅に入居し仕事がなく困っている近くの漁師たちに頼まれて、その人たちを雇っている。最初、二～三人のつもりが、三十人にもなったそうだ。

また環境問題を伝える童話「カキじいさんとしげぼう」を書いた。しげぼうは畠山さんの幼いときの呼び名、彼の自伝のような本である。

彼はトレードマークになった黄色のダウンコート姿で、「どこまで出来るか分からないけれど、虎になったつもりでがんばりますよ。コートの色も黄色だしね」と目に力を込め、にこやかに話していた。この人をずっと応援して行きたい一心の底からそう思った。

## Congratulations!!

- \* 立木弘賢  ロンドン大学入学
- \* 田淵 愛  Hugh Boyd Secondary School 入学
- \* 石田千尋 秋田県立大学入学
- \* 相澤和久 NPO仕事への架け橋の文部科学大臣賞・受賞 TOMODACHI サマー2012ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム・受賞
- \* 酒井 亮  Southern Queensland大学卒業
- \* 長島悠介  Connock & Lockie Ltd.オーナー
- \* 菅野 唯 East Blue オーナー
- \* 佐藤 毅 結婚
- \* 上延佑加子 結婚 (旧姓：石井)
- \* 坂本直子 結婚 (旧姓：田中) オーストラリア在住

オープン予感!!



## Japan Select 3.11 shop



Japan select 3.11 shopのアイテムの内、私のNPOに賛同頂いた人形作家が、特許権をもつ防災人形を提供して下さり現在、中国で見積もりなどを関係者にとって貰っています。



畠山氏の環境問題を伝える絵本「カキじいさんとしげぼう」Grandfather Oyster and Shigebo)を、米国大使館とコラボして販売する予定。



英国出身で平泉町在住の千葉ローズマリーさんの本 (Summer grass—夏草や)



東北大震災被災地支援のために 駐米大使夫人により発行されたお料理の本



伊豆大島で12年間研究された (株) i.e.i.の椿エッセンシャル・オイル&ソルト

## ■ 第一歩目 交流開始のTシャツ・プロジェクト ■

ハガキ付きチャリティTシャツ(オフィシャル・ハロードリームロゴ付き)を海外校向けに販売。(国内・アメリカ・英国・カナダ・NZからスタート) 付属のメッセージカードで交流を開始する。



汐田 スコット氏 Tシャツ・デザイン製作者 (ロス在住)

### ■ メッセージカード



Tshirts design

### ■ チャリティTシャツ



オフィシャル・ハロードリームロゴ付き

# ～つなげる東北、日本、世界を～

★ <主な活動> ★



1

<2012年3月24日>  
気仙沼市のNPO森は海の恋人を訪問。世田谷区立八幡中学校の生徒、新宿区立新宿西戸山中学の生徒と関係者から集まった義援金と、ハローキティロゴ付きカードを畠山重篤氏に手渡す。同氏は先月、国連からフォーレストヒーロー賞を受賞された。畠山氏の絵本(Grandfather Oyster and Shigebo)を、米国大使館とコラボして販売する予定。



2

<2012年3月23日>  
岩手県奥州市のNPO天遊塾主催の岩手発! 旅づくり塾ワークショップで、[東北のココロの旅、岩手に期待すること]の講演。



3

<2012年3月13日>  
新宿区立新宿西戸山中学で、総合学習の「国際社会に生きる自分」のための講演をする。同中学はNPO10年アリガトウプロジェクトが窓口になり、気仙沼市のNPO森は海に恋人の支援活動を開始した。



4

<2012年3月2日>  
大船渡市綾里漁連の船体に企業のロゴを張り、支援金を集めるAD BOATプロジェクトの天王洲イルでのイベントに参加。昨年サンリオとコラボで世界をわかせたイタリアのブランド・Hydrogenのアルベルト社長はAD BOATに賛同し企業のロゴ出資1号者。綾里漁連の佐々木淳さんが着ているパーカーを200枚限定でデザインし提供した。売上はすべて義援金に。



5

<2012年2月>  
2月21日、NZ大使館でクライストチャーチ地震追悼式に参加。慰霊碑プロジェクトに寄付しました。

<2011年11月>  
東日本大震災後の復興の歩みを映像で世界に向けて発信していくプロジェクト「Ganbatte365」のサイトに、10年アリガトウプロジェクト責任者・CAS代表・難波三津子の動画インタビューが掲載されました。今後の活動も報道して下さるそうです。

NPO 法人ハロードリーム・10年アリガトウ・プロジェクト (内閣府承認)  
責任者：難波三津子 URL <http://www.hello-dream.com/>

Dear Michi

"I was very frustrated with the difficulty I faced getting up north after the disaster through Japanese sponsored NPO's.


Therefore, I joined Operation Tomodachi with the U.S. Army to help aid some of the most devastated areas in Fukushima, Miyagi and Iwate prefectures. I also did many separate trips with private NPO's run by British humanitarians also including my friends and coworkers from Hooters.

wanted to help in the reconstruction of Tohoku because I felt like it was my obligation and duty as a U.S. expat living in Japan. I have called Japan my home for five years, and therefore I should treat it just as I would my home back in the United States."

I hope this will satisfy a little story for your newsletter. We will be in touch.

All the best,  
Justin Davis

**My 東北 Story**



テンブル大学4年生  
アメリカ大使館研修生